

令和2年度北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会定例会議議事要旨

| | | |
|-------------------------|--|--|
| 開催日及び場所 | 令和2年12月22日(火) Web開催 | |
| 委員 | 委員長 岸浪 建史 (学識経験者) 委員 菊地 均 (学識経験者) 委員 後藤 正典 (公認会計士) 委員 佐藤 昭彦 (弁護士) | |
| 審議対象期間 | 令和元年10月1日～令和2年9月30日 | |
| 抽出案件(合計) | 8件 | (備考) |
| 工事(小計) | 7件 | 審議を開始するに当たり、後藤委員から、今年度の審議対象案件の抽出の考え方について説明があった。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。 現委員の任期は令和3年9月末をもって満了する。次期の委員について、あらためて正式に意向確認する旨説明があった。 次回開催時の案件抽出について、佐藤委員が指名された。 |
| 一般競争 (調達協定対象工事) | 0件 | |
| 一般競争 (政府調達協定対象工事を除く) | 5件 | |
| 通常指名競争 | 0件 | |
| 随意契約 | 2件 | |
| 設計・コンサルティング業務 | 1件 | |
| 委員からの意見・質問、それに対する意見等 | 意見・質問 | 回答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | 特になし | |

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>1. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p> | |
| <p>2. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p> | |
| <p>3. 抽出案件の考え方について (後藤委員より説明)</p> <p>・昨年度の定例会議において、北海道大学から3件、その他の6大学から各1件ずつ抽出することとなった。この方針に沿って該当案件のなかった北見工業大学を除く6大学より8件を抽出した。</p> | |
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(2) 競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の工事</u> 1. 【北海道大学】総合研究棟(工学系)新営機械設備工事</p> <p>・一般管理費について、予定価格と落札価格との差が大きいが、この理由について当該業者から説明はあったか。</p> <p>・本体工事の直接工事費の予定価格と落札価格の差について、1,300万円ほど差があるがこれは何が原因か。</p> <p>・空調設備の予定価格と落札価格の大きな差は何が原因か。</p> | <p>・直接業者からの説明はないが、企業努力によるものと考えられる。</p> <p>・業者の入札価格における直接工事費は、業者が利益を乗せて積算していると考えられるため、本学の予定価格よりも高く、諸経費では低くなる傾向であるとされる。</p> <p>・予定価格は、エアコンメーカー複数社から見積を徴取するなどして算出している。 一方、業者の入札価格は複数社からの見積のうち一番安い金額を使うとは限らない。今回の台数規模では、大きな差が生じたと考えられる。</p> |
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(5、7) 随意契約のうち少額随契でない工事かつ、6,000万円以上の工事で一般競争入札を行わなかった工事</u> 2. 【北海道大学】北キャンパス総合研究棟4号館改修機械設備工事</p> <p>・上記の案件と同じ業者であるが、上記の案件は一般競争入札であり、本案件は随意契約である。この2件について関連はあるか。</p> <p>・見積を徴取した3社について、見積金額のほかに選定基準はあるか。</p> | <p>・随意契約であるが、指名競争に近いものである。全国3,239者の管工事のA又はB等級の認定を受けている業者からしぼって、最終的には本学と取引実績のある札幌市内の8者を選定し、見積を依頼したところ、3者から徴取できた。その中で一番安いところを選んだ結果、契約の相手方が上記の案件と同じ業者になったということである。</p> <p>・施工実績があることを考慮したうえで、3社について金額で競争し、決定した。</p> |

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (4) 入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事 4. 【北海道教育大学】釧路城山団地基幹整備（機械設備）工事 ・一般管理費について、予定価格と落札価格の差が約1,000万円であるが、これについて事情を説明願いたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、発注時期に釧路管内での公共工事が僅少であった為、業者の都合もあり、このような差が生じたと考えられる。 |
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの工事 1. 【室蘭工業大学】白老団地計測棟新営工事 ・入札条件にプレハブ製作の自社工場を有していることを入れたことにより、入札業者が少なかったのではないかと。 ・設計図からは3,800万円になる理由がわからないが、特別なスペックなのか。 ・設計図にはトイレがないが、どうするのか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ゼネコンがプレハブ製作の自社工場を有している業者を下請として入札に参加することも可能であったが、結果的に工場を有している業者が直接入札に参加することで、1者のみになった。 ・工事現場の現場事務所等からイメージするプレハブと比べるとレベルは高いものである。 しかし、白老町から借りている場所であること、実験終了後は撤退しなければならないことから、コンクリートではなくプレハブとした。 ・トイレは昨年屋外に設置済みのものを使用する。 |
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (5) 随意契約のうち少額随契でない工事 1. 【小樽商科大学】設備棟中央監視設備改修工事 ・中央監視のゲートウェイシステムについて、ユニットは現在のメーカーのもの以外は使えないのか ・汎用性を持たせるようなシステムにすることは難しいのか。 ・辞退した業者の見積について趣旨を教えてください。 ・改修後のシステムは何年使用する予定か。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・複数社のメーカーが1つのシステムの中に入ることが難しい状況である。 ・全体的な今後のシステム更新に向けて検討することとしたい。 ・辞退した業者の見積の内容について深く確認はしていない。 ・メーカーが推奨している耐用年数の10年を目安に更新する予定である。今回更新しなかった部分については、今後10年以内に更新が必要となるが、今回のような更新をするか、全体の更新をするか検討する必要があると考えている。 |
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの工事 1. 【帯広畜産大学】動物焼却施設改修工事 ・予定価格の策定過程について教えてください。 ・公告の日数が11日間であることについて、長い期間の公告が出来なかった理由はあるか。長い期間があれば別の業者が参入する可能性があったのではないかと。 ・設置場所は帯広畜産大学のキャンパス内か。 ・相当大型の焼却炉であると思うが、焼却の実態とはどのようなものであるか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・動物焼却炉はプラント設備であり、焼却能力、焼却方式や燃料種別等を提示し、業者から見積を徴取することとした。 トラブルの発生時には速やかな対応が求められるため、直近10年以内に、動物炉を含めた小型焼却炉を北海道内に納入した実績がある企業とし、3者に見積りを依頼したものである。 ・最低3者の参加を見込んでいたため、長めに設定することなく一般的な日数で公告したものである。 ・そうである。 ・牛、馬等大動物の焼却炉であり、年間100回程度稼働する。 |

| 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの工事 1. 【旭川医科大学】西病棟東側系統排水主管更新工事 ・2回目で落札しているが、予定価格と2回目の金額について説明願いたい。</p> <p>・地元には排水管の業者はいないのか。</p> <p>・予定価格を算定していく過程で十分配慮いただきたい。特に現場の管理費は会計処理上流動的であるため、問題を再考察していただきたい。</p> <p>・2回目で100%になっている場合、1回目がどのような見積になっているか把握する必要がある。1回目の金額が2回目の金額になった経緯について確認していただきたい。</p> | <p>・内訳書をみると、直接工事費と一般管理費は業者の金額の方が低いが、現場管理費は業者の金額の方が高い。これは労務費によるものと考えられる。その結果偶然（落札率が）100%となった。</p> <p>・地元業者はいるが、入札は辞退したということである。</p> <p>・再考察する。</p> <p>・確認する。</p> |
| <p>5. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (5) 随意契約のうち少額随契でない事業 3. 【北海道大学】跨道橋撤去設計業務 ・入札をした際に参加業者がいなかったということか。</p> <p>・随意契約できたということは、業者は入札に参加できたのではないのか。</p> <p>・入札の際に実績のある業者が少なかったのか。</p> <p>・資料より、業務過多を理由に応募しなかった業者が多かったというのは、復興事業が関係していると考えているのか。</p> | <p>・そうである。</p> <p>・今回のような設計業務の公告を行う例が大学ではあまりないため、業者が見ていなかった、または、公告を見ていても業者が応募しなかったことが考えられる。</p> <p>・入札の際に求めていた高速道路や一般国道等の橋梁設計の実績に合致する技術者がいないこと等により応募しなかったことが考えられる。</p> <p>・ヒアリングしたところによると胆振の地震の復興に関わっているという話も聞かれた。</p> |